



暑さも徐々に和らぐ9月。秋の夜長は本を読んで過ごしてみませんか。

『AIにはない「思考力」の身につけ方 言葉の学びはなぜ大切なのか』

今井むつみ 著 141.5/I

言葉の学習が研究テーマの著者は、AIにはない人間の能力は「思考力」であり、「思考力」を使って問題解決するのに一番必要なのが「ことばの力」だと説きます。「ことばの力」で問題解決する仕組みを、子どもが言葉を覚える過程を題材に解説、更に人間の思考とAIの思考の仕組みの差異を指摘しています。

AI時代の人間の在り方について、参考となる一冊です。

『改訂版クラシックのからくり 「かたち」で読み解く楽曲の仕組み』

舟橋三十子 著 761.7/F

音楽の授業で必ず触れるクラシック音楽ですが、ポップス・ロックなどと比べてとっつきにくいと感じる方もいるでしょう。

この本はクラシック音楽を仕組み・様式・歴史・楽器の項目に分けて解説しています。なぜあの楽曲は名曲と言われるのか、なぜあの作曲家は今も人気があるのか、理解するヒントが書かれています。

『ニュートン先生の確率講義』

倉田博史 監修 417.1/K

世の中のあちこちで見聞きする「確率」ですが、なぜそういう数字が導き出せるのでしょうか。またその数字は信頼に値するものなのでしょうか。

この本では、経済学の研究者である著者が生活のあちこちにある確率の仕組みをわかりやすく教えてくれます。「宝くじは交通事故より当たらない」という話の裏付けもわかります。

『苦手から始める作文教室 文章が書けたらいいことはある？』

津村記久子 著 816/T

著者は『ボトスライムの船』(913.6/Tsumu)で2009年に芥川賞を受賞した作家ですが、「作文が苦手」なのだといいます。そんな著者による、テーマの立て方、文章の構成、読ませる工夫など、作文の書き方のポイントが詰まった一冊です。

書き方の本なのに、その文章すら面白く読み進められる仕掛けが満載で、「さすがは作家」と感じさせます。

『意識の正体』

櫻井武 著 491.37/S

「意識している」「無意識」という言葉はよく使いますが、では「意識」とは何か、どこに存在しているのか、みなさんは説明できますか。

脳神経学者の著者が、睡眠中は無意識なのか、AIは意識を持つことが可能なのか、人間は本当に意識的に考えて選択しているのか、などの様々な問いかけから「意識」の謎にアプローチしています。

『逃げる田中』

石川宏千花 著 913.6/I

中学生の曾我以印(いいん)は、塾通いのバス待ちの時、クラスメートの田中が爆走しているのを見かけます。なぜ田中は走るのか、何から逃げているのか。田中の9回の逃走に付き合わされた曾我は彼女の驚くべき秘密を知ります。

壮大かつナンセンスな内容が、テンポの良い文章で進んでいく一冊です。

『自転車の交通ルールがわかる本』

コンデックス情報研究所 編著 681.3/K

2026年4月から自転車の交通ルールが変わったことはご存じだと思いますが、「ヘルメットをかぶらないといけない」などの他にどんなルールがあるのか、分かっている人は少ないのではないのでしょうか。

この本では自転車の交通規則を図版で詳細に紹介しています。青切符を切られないよう参考にしてください。

『NHK「100分de名著」ブックス メアリ・シェリー フランケンシュタイン 本当の「怪物」は、誰なのか』

廣野由美子 著 933.6/H

イギリス文学を専門とする著者は、『フランケンシュタイン』が長年SFホラーとして読まれてきたことに疑念を抱きます。作者メアリ・シェリーの生涯が作品に与えた影響や、怪物のセリフの分析から、この19世紀に誕生した小説が、AI時代の今こそ読まれるべき先見性をもっていることを明らかにした一冊です。

今月の新着から

■0 総記

- 『生成 AI 時代の国語力』 齋藤孝著 007.3/W
『書店に行くときだいたいイイコトが起こる』
杉浦正人著 019/S

■3 社会科学

- 『科学的根拠（エビデンス）が教える子どもの「すごい読書」』 猪原敬介著 379.9/I

■4 自然科学・医学

- 『疑う科学者』 池内了著 404/I
『脳がないのにクラゲも眠る：生物に宿された「睡眠」の謎に迫る』 糸和彦著 481.3/K
『ゴリラの森で考える』 山極寿一著 489.9/Y

■7 芸術

- 『東京大学で教わるゲーム学入門』 吉田寛著
798.5/Y

■9 文学

- 『ぼけていく私』 佐藤愛子、響子、桃子著 910.268/S
『鵲』 赤神諒著 913.6/A
『＃台所のあるところ』 原田ひ香著 913.6/H
『翠雨の人』 伊与原新著 913.6/I
『多類婚姻譚』 凧良ゆう著 913.6/N
『見えるか保己一』 蟬谷めぐ実著 913.6/S
『青天』 若林正恭著 913.6/W
『アザラシと海の約束』 スーザン・ムスケ著 949.33/M

文庫・新書・絵本

- 『社会保障改革の岐路：信頼のセーフティーネットは可能か』 宮本太郎著 080/イ/2119
『ヒトと AI』 岡野原大輔著 080/イ/2122
『孔子は、いかにして「神」になったのか』 湯浅邦弘著 124.1/ユ
『「世界を動かす宗教」講義』 池内恵編著 160.4/イ
『戦国武将は戦がないとき、何をしていたのか』 河合敦著 210.47/カ
『目が』 背筋著 913.6/キ
『ドナルド・キーンわたしの日本語修行』 ドナルド・キーン著 930.278/キ
『あなたに』 谷川俊太郎詩、ザ・キャビンカンパニー絵
P91/T



第175回 芥川賞

『ゾンビ回収婦』 小砂川チト著 913.6/K

第175回 直木賞

『けんぐわい』 朝倉かすみ著 913.6/A

カウンターにて展示しています。
貸出も可能です。

ぜひ読んでみてください。